

## 健康保険証の存続を求める意見書

政府は、2024年秋に現行の健康保険証を廃止し、マイナンバーカードに一体化する法案を可決・成立させた。

しかし、誤登録や情報漏えい、「資格無効」と表示される等、マイナ保険証に関するトラブルが続出し、多くの患者・国民が不安を抱えている。

沖縄県保険医協会が実施したアンケート調査（回答数107件）では、オンライン資格確認システムを運用する医療機関81件のうち、38件（46.9%）が何らかのトラブルを経験している。主なトラブル内容として、カードリーダーやマイナ保険証の不具合により保険者情報が読み取れなかったケース、読み取った保険者情報が正しく反映されていなかったケース等を合わせて53件のトラブルが発生している。そのうち保険証を持っていないため正しい保険者情報を確認することができず窓口で10割負担となったケースが3カ所の医療機関で発生した。今後、経済的理由により受診が困難になることが懸念される。

よって、国においては、健康保険証の廃止により健康保険証を持たず、保険診療を受けられない人が生じないよう、健康保険証の廃止とマイナンバーカードへの一体化について、見直すことを強く要求する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年9月28日

沖縄県中頭郡北谷町議会

あて先

内閣総理大臣 厚生労働大臣 総務大臣 法務大臣 デジタル大臣  
衆議院議長 参議院議長